



沼津市文化財 センター通信

Vol.14

2024年7月発行



文化財通信
バックナンバー



沼津市公式Youtube Ch.
(沼津の歴史紹介)



東日本最古級の王の墓 ～高尾山古墳～

たかおさんごふん



空から見た高尾山古墳

高尾山古墳は、金岡地区
ひがしくまんどう
の東熊堂にて発見された
ぜんほうこうほうふん
前方後方墳と呼ばれるお墓です。
道路建設計画の前に平成20年度
はくつ
から発掘調査が行われました。当初は古墳を取り壊す計画でしたが、調査の結果、今から約1800年前（3世紀中ごろ）に造られた全長62mという巨大な古墳であることがわかりました。この年代は東日本でも最も古く、かつ62mという大きさは当時では最大級です。

さらに王が埋められた場所からは、当時の最高級の品物である銅鏡、まがたま、勾玉、鉄のヤリなどがそのまま出土しました。また、古墳の周りからは北陸や東海地方西部などの離れた地域とも関係する土器も見つかりました。古墳の規模やこうした出土したものから約1800年前に東日本の中でも大きな権力を持ち、さらに離れた地域とも広く交流を持った王が沼津に暮らしていたことがわかったのです。

重要な古墳時代の遺物

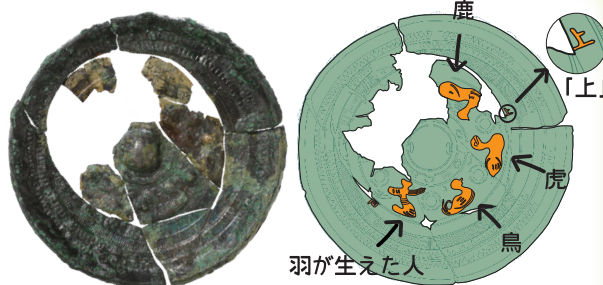
鏡



高尾山古墳を語るうえで最も重要な出土遺物は鏡です。鏡はものを写し出すことができるので、世の中を見通すための「まじない」に使用されたとも考えられています。高尾山古墳の鏡にはケモノや羽が生えた人の姿が描かれ、さらには「上」という字が彫られていることが特徴です。「上」は「しょう」と読むことから、この鏡が中国の「尚方（しょうほう）」という場所で作られたことがわかります。

この種類の鏡は中国はもちろん、日本列島では現在のところ60枚程度が

高尾山古墳の鏡



見つかっています。北部九州での出土が目立ちますが、高尾山古墳をはじめとした東日本の同時期の古墳では、鏡をわざと割ってから墓に入れるという儀式が共通しています。どうやらその時期の最上級の古墳には共通したお葬式があったようです。

わざと割って
るんじゃ





貴重な遺跡として 国の指定文化財へ

こうして高尾山古墳は貴重な遺跡であることが明らかになったため、沼津市では高尾山古墳を保存しつつ道路建設も両立させる計画を考えてきました。令和4年度には道路の計画がまとまり、古墳も保存できる見込みとなったため、文部科学省へ国の指定史跡（重要な遺跡のことを史跡といいます）にしたほうがよいと意見書を提出しました。この意見書について6月には専門家による会議が行われ、高尾山古墳は日本の歴史を考えるうえでも貴重な文化財であるとして、国指定史跡とするのがよいとの結論が出ました。おそらく、令和6年度中には正式に国指定史跡になると思います。

今後古墳の整備を行い、だれでも自由に見学できるような公園を造っていく予定ですが、道路計画との両立を目指していることから、公園の完成は少し先のことになります。ですが、公園の完成までも皆さんにこの貴重な古墳を見ていただく機会を作りたいと考えていますので、興味のある方はぜひ参加してみてください。



夏休み文化財イベント

むかしの世界へタイムスリップ

日時：8月3日（土）9：00～15：00（最終受付 14：30）

場所：沼津市民文化センター展示室

対象：小学校低学年から中学3年生までの児童生徒

内容：昔の生活体験

- ・弓矢体験
- ・土器作り・勾玉づくり（有料 各 500 円）
- ・地域の歴史の学習
- ・文化財に触れてみよう
- ・夏休み宿題相談



案内図



沼津市文化財センター

展示室見学 平日9時00分から16時30分

（土・日曜日、祝日、年末年始はお休み）

見学無料

〒410-0106 静岡県沼津市志下530

TEL 055-935-5010 / FAX 055-933-1270

沼津市教育委員会文化振興課 文化財企画係・文化財調査係

E-mail cul-bunkazai@city.numazu.lg.jp

